

事業 優先順位		1	細事業：河内長野市バイオマスタウン推進事業					整理 番号	03		
目 的		バイオマスタウン構想の目的達成に向け、市民・市民団体・事業者の参画と協働により施策展開を図り、バイオマスタウンの実現をめざす。									
目 標		竹バイオマス(竹パウダー)の普及促進。									
事業 実施主体		直 営	事業開始 年 度	平成21年度	根拠 法令						
事業費・財源				平成24年度	比 較	コスト情報・従事職員数 内 訳 参 考				平成24年度	比 較
	事業費（決算額）(千円)			787			総コスト (千円)			4,755	
	財源内訳	一般財源		787			事業費	787			
		国府支出金		0				人件費		3,968	
		地方債		0				公債費		0	
		その他特定財源		0				一人あたり (円)		42	
				0			世帯あたり (円)		101		
				0			職員数 (人)	0.50			
			0		再任用職員数 (人)			0.00			
	今後の方向性										
高等教育機関とも連携し、木質系バイオマス利活用の検討を進める。											
評 価	妥当性	効率性	有効性	対象者	河内長野市民						
	A	A	A								



細事業：河内長野市バイオマスタウン推進事業

1. バイオマスタウン推進業務

現在利用されていない未利用バイオマスや廃棄物系バイオマスの利用を検討することで、排出されるゴミの削減や限りある資源の有効利用を推進し、地域社会の継続的发展を目指す。

(1) 竹パウダー等実証調査

放置されて拡大していく竹林の整備を進めていくため、切り出した竹を資源とした土壌改良材としての活用方法を検討した。

烏帽子形山に繁茂している竹林を整備している烏帽子里山保全クラブから竹パウダーの提供を受け、大阪府立大学の協力のもと、土壌改良材としての利用の可能性を検討するため、竹パウダーがトマトの生育に及ぼす影響及び鶏糞添加による C/N 比の調節が竹パウダーの分解に及ぼす影響に関する実験を行った。

その結果は、つぎのとおりである。

- ・ 竹パウダーを株元に厚さ 1 センチメートル程度かぶせた場合は、野菜栽培での雑草抑制効果が確かめられた。
- ・ 未分解の竹パウダー中にはフェノールが含まれ、コマツナの生育を阻害するが、鶏糞添加やミミズ投入によって、数十分の一に低下させることができる。
- ・ 鶏糞添加によって竹パウダーの C/N 比を 22 に調整すると、ミミズの生存と繁殖の両方に適した環境になる。
- ・ 竹パウダー 1 kg に腐葉土一握りと鶏糞 124～496 g を加えて、土嚢袋に入れて 2 か月間野外に静置すると、竹パウダー粒子の表面が滑らかになり、粒子が細くなる。これにミミズを加えると竹パウダーが団粒化する。